

広島大学病院 薬剤部同門会 総会

*氏名は、全て敬称略としております

1. 会長挨拶

2. 決議事項

なし

3. 報告事項

「広島大学病院薬剤部 同門会 規約」における細則の変更

4. 会員報告

1) 表彰

柴田ゆうか 「2019年度 日本医療薬学会 Postdoctoral Award」 日本医療薬学会

柴田ゆうか 「2019年度 日本薬学会中国四国支部奨励賞」

第58回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会

2) 祝賀

なし

3) 会員数

職員（現） 71名

（元） 97名

学生（現） 28名

（元） 43名

計 239名（11月30日現在）

4) 学位・資格等取得（資格等は新規分のみかつ開始日が本年分・50音順）

資格等（新規分）

板村亮 日本薬剤師研修センター 認定薬剤師

大東敏和 日本くすりと糖尿病学会 糖尿病薬物療法認定薬剤師

梶川和哉 広島県「広島DPAT」養成研修

片岡達夫 日本医療薬学会 認定薬剤師

小林真理 日本臨床試験学会（JSCTR）認定GCPパスポート

佐伯康之 広島県「広島DPAT」養成研修

柴田ゆうか 日本老年薬学会 老年薬学指導薬剤師

高松花絵	日本医療情報学会 医療情報技師
野津和良	広島県「広島 DPAT」養成研修
藤井健司	日本臨床試験学会（JSCTR）認定 GCP パスポート
本永正矩	日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師
本永正矩	日本臨床腫瘍学会 がんゲノム医療コーディネーター
野津和良	広島県「広島 DPAT」養成研修

5) 薬剤部人事

【採用】 4月1日 猪俣彩美, 岡本翔子, 國澤敦史, 嶋村映美, 寺谷祐亮, 中野佑郁 (薬剤師), 岡田達司 (研修生)

5月1日 岡田達司 (薬剤師)

5月16日 高畑さとみ (派遣事務職員)

9月1日 岩田文子 (事務職員)

【配属】 4月1日 原田梨紗子 (博士課程1年)
陰野嘉隆 (博士課程1年)

10月1日 猪口紘生, 大塚満里奈, 内藤瑞季, 古都紗織, 馬野りさ子 (学部3年生)

【昇進】 4月1日 本永正矩, 村瀬哲也 (薬剤師→薬剤主任)

8月1日 真志田絵美子 (薬剤師→薬剤主任)

【登用】 4月1日 久保有子, 秋本栞里, 板村亮 (契約職員→薬剤師)

【異動 (薬剤部外との異動のみ)】

3月1日 武田 暁 (薬剤部→医事グループ)

4月1日 森木昌子 (医療安全管理部→薬剤部)
柴田ゆうか (薬剤部→医療安全管理部)

【復職】 4月1日 井廻裕美

8月1日 中島春佳

【産休・育休】

11月9日 塚原かおり (現在2名)

【退職】 2月28日 吉田智子

3月31日 藤田啓子, 奥貞紘平, 伊達敦子

4月30日 鳥居洋子

6月30日 森木昌子

10月4日 岩田文子

4. 事業ならびに会計報告

1) 事業 12月22日 広島大学病院 薬剤部同門会 総会・懇親会

2) 事業計画 2020年12月26日(土) 総会：16時30分 懇親会：17時(予定)
ホテルグランヴィア広島

3) 役員

会 長 松尾裕彰
副会長 畝井浩子, 埜越崇範
理 事 角山政之, 佐伯康之, 柴田ゆうか
監 事 新井茂昭, 三宅勝志
名誉会長 木平健治

4) 業績(11月30日現在・詳細は次ページ参照)

原著(8篇・うち英語2篇), 著書(4点), 総説(2篇), 解説・報告・その他(9報),
依頼講演(36件), 学術大会発表(47件)

5) 決算 2019年度 2020年4月以降に同門会ホームページに掲載予定

≪ 業績 (2019年1月1日~11月30日) ≫

原著 (8 篇)

1. Yoshikawa H, Sakurashita H, Izumitani S, Taogoshi T, Saeki Y, Matsuo H. Safety of 90Y-ibritumomab Tiuxetan Treatment for Japanese Patients in Real-world Clinical Practice. YAKUGAKU ZASSHI, 139 (1): 131-4 (2019)
2. 西塚亨, 荒川隆之, 寺岡豊, 森中千恵子, 吉原統, 吉川博, 高下秀樹, 先森満子, 松尾裕彰. 病院機能別病棟薬剤業務に関する実施状況の調査. 広島県病院薬剤師会雑誌, 54 (1): 5-14 (2019)
3. 柴田ゆうか, 松尾裕彰, 仁井内浩, 河本昌志. 薬学生に対する周術期医療教育. 日本手術医学会誌, 40 (1): 10-3 (2019)
4. 土井舞子, 柴田ゆうか, 佐伯康之, 畝井浩子, 中村隆治, 濱田宏, 松尾裕彰. 開腹胃切除術後患者における患者自己調節硬膜外鎮痛とアセトアミノフェン注追加マルチモーダル鎮痛法の有効性と安全性について. 日本病院薬剤師会雑誌, 55 (3): 297-300 (2019)
5. Kataoka T, Sakurashita H, Taogoshi T, Nishigakiuchi R, Murase T, Izumitani S, Saeki Y, Matsuo H. Comparison of pegfilgrastim and filgrastim for the primary prophylactic effect for preventing febrile neutropenia in patients undergoing rituximab with dose-adjusted epoch chemotherapy. YAKUGAKU ZASSHI, 139 (4): 629-33 (2019)
6. 櫻下弘志, 西垣内亮, 須川涼, 柴田ゆうか, 泉谷悟, 村瀬哲也, 佐伯康之, 松尾裕彰. HER2 陽性乳がん患者におけるトラスツズマブ エムタンシン投与による有害事象. 広島県病院薬剤師会誌, 54 (2): 82-6 (2019)
7. 白井敦史, 荒川隆之, 大東敏和, 柴田ゆうか, 只佐正嗣, 後藤千栄, 村上秀治, 今井 圭介, 柳田祐子, 平本敦大, 竹本貴明, 柚木りさ, 橋本佳浩, 先森満子, 中村徹志, 松尾裕彰. 保険薬局を対象とした病院薬剤師との連携に関するアンケート調査. 広島県病院薬剤師会雑誌, 54 (3): 159-67 (2019)
8. 板村亮, 柴田ゆうか, 埴越崇範, 松尾裕彰. 非抗がん剤の血管外漏出による皮膚傷害の発生状況と処置に関する実態調査. 広島県病院薬剤師会誌, 54 (3): 169-74 (2019)

著書 (4 点)

1. 富田隆志. 服薬指導・薬剤情報 (非代償性肝硬変, 非特異的腰痛症, アレルギー性鼻炎), 福井次矢他 編. 今日の治療指針 2019. 医学書院 (東京) (2019)
2. 太田浩平, 吉川博. よくある処方間違い. 志馬伸朗 編著. ER・ICU 100 のピットフォール. 中外医学社 (東京) (2019)
3. 佐伯康之. 第 2 章 抗 HER2 抗体. 濱 敏弘 監修. 整理して理解する抗がん薬. じほう (東京) (2019)
4. 佐伯康之. 全病棟への薬剤師配置による薬剤師の薬物療法への参画および医師との協働による業務の推進. 『医療経営白書』編集委員会 編. 医療経営白書 2019 年度版 働き方改革がもたらす新時代の病医院経営. 日本医療企画 (東京) (2019)

総説（2 篇）

1. 角山政之. マイルストーン方式による治験費用の適切な算定とは. *PHARMSTAGE*, 18 (12): 35-42 (2019)
2. 富田隆志. 新しい医療用医薬品添付文書と医薬品インタビューフォームの記載要領について. *東京都病院薬剤師会雑誌*, 68 (4): 169-74 (2019)

解説・報告・その他（9 報）

1. 柴田ゆうか. 急性期患者における貼付剤の使用法. *WOC Nursing*, 7 (4): 42-48 (2019)
2. 大東敏和, 菅野啓司, 田妻進. 特集/胆汁酸とアンチエイジング 核内受容体 FXR 一大腸炎, 大腸発がん抑制への可能性. *アンチエイジング医学*, 15 (2): 206-11 (2019)
3. 富田隆志. 新薬くろ〜ずあっぷ オルケディア錠 (エテルカルセチド). *調剤と情報*, 25 (5): 735-41 (2019)
4. 富田隆志. 審査報告書から見る新薬の裏側 第 30 回ラビピュール筋注用 (乾燥組織培養不活化狂犬病ワクチン). *月刊薬事*, 61 (9): 1668-73 (2019)
5. 柴田ゆうか. SGLT2 阻害薬を使う時の患者の利点・注意点とは?. *糖尿病ケア*, 16 (10): 901-3 (2019)
6. 大東敏和. 患者がはじめて SGLT2 阻害薬を使う時に伝えておくべきことは?. *糖尿病ケア*, 16 (10): 904-7 (2019)
7. 柴田ゆうか. 病棟・カンファレンスでそのまま使える想定問題集 151. *月刊薬事 10 月臨時増刊号*, 61 (14): 2452-5, 2522-5 (2019)
 - 【Q7】抗凝固薬と抗血小板薬の術前休薬期間の目安を教えてください。
 - 【Q8】サプリメントは術前に中止したほうがよいですか？
 - 【Q36】選択的エストロゲン受容体モジュレーター (SERM) の術前休薬期間の目安について教えてください。
 - 【Q37】メトトレキサート (MTX) などの関節リウマチ治療薬では、術前休薬は必要ですか？
8. 富田隆志. 病棟・カンファレンスでそのまま使える想定問題集 151. *月刊薬事 10 月臨時増刊号*, 61 (14): 2692-7, 2742-3 (2019)
 - 【Q110】肝機能低下患者にマクロライド系抗菌薬を投与する場合、用量調節が必要ですか？
 - 【Q111】予防投与可能な抗インフルエンザ薬はどれですか？
 - 【Q112】インフルエンザの予防接種後、肺炎球菌ワクチンの接種までにどのくらい期間を空ければよいですか？
 - 【Q133】インフルエンザ時の解熱鎮痛薬として、何を選択すればよいですか？
9. 畝井浩子. 病棟・カンファレンスでそのまま使える想定問題集 151. *月刊薬事 10 月臨時増刊号*, 61 (14): 2752-7 (2019)

【Q137】 アルブミン製剤はどれくらいの速度で投与すればよいですか？

【Q138】 グロブリン製剤のなかで抗サイトメガロウイルス抗体力価の高い製品はどれですか？

【Q139】 グロブリン製剤はどれくらいの速度で投与すればよいですか？

依頼講演 (36 件)

1. 富田隆志. 新医薬品を評価するための資料とポイント. 平成 30 年度第 3 回 JASDI フォーラム, 東京, 2019 年 1 月
2. 佐伯康之. 保育・教育現場での感染症対策. 第 10 回関係者のための病弱児セミナー 子どもの感染症対策と小児がん講演会, 広島, 2019 年 1 月
3. 石井聡一郎. RMP を用いた心不全治療薬の AE マネジメント. 第 18 回広島循環器薬物治療研究会, 広島, 2019 年 1 月
4. 櫻下弘志. 心不全患者への緩和ケアと地域連携の取り組みについて. 第 31 回岡山緩和ケア薬剤師カンファレンス, 岡山, 2019 年 2 月
5. 櫻下弘志. これからの薬剤師に求められるがん薬物療法マネジメント. 第 520 回薬事情報センター定例研修会, 広島, 2019 年 2 月
6. 柴田ゆうか. ポリファーマシー対策を考える. 呉市薬剤師会生涯教育研修会, 広島, 2019 年 2 月
7. 野津和良. 入院患者における抗がん剤の Dose Banding 導入シミュレーション～医療経済効果の検討～. 平成 30 年度 広島県病院薬剤師会シンポジウム, 広島, 2019 年 2 月
8. 柴田ゆうか. ポリファーマシー対策を考える. 第 1 回安佐地区合同薬剤師研修会, 広島, 2019 年 2 月
9. 吉川博, 佐藤智人, 畝井浩子, 太田浩平, 大下慎一郎, 志馬伸朗, 松尾裕彰. 薬剤管理のリスクマネジメントにおける ICU 常駐薬剤師の役割. 第 46 回日本集中治療医学会学術大会, 京都, 2019 年 3 月
10. 高橋佳子, 小林敦子, 藤谷茂樹, 石津智司, 飛川昭雄, 吉井智子, 吉川博, 中菌健一, 竹末芳生. ICU における抗菌薬使用状況調査－多施設によるパイロットスタディー. 第 46 回日本集中治療医学会学術大会, 京都, 2019 年 3 月
11. 柴田ゆうか. ポリファーマシー対策に向けて～必要な視点と考え方～. 薬薬連携研修会, 広島, 2019 年 3 月
12. 三木陽介. Experience in the United States. 広島 PC 国際推進協会研修会, 広島, 2019 年 4 月
13. 吉川博, 佐藤智人, 畝井浩子, 松尾裕彰. 救急・集中治療での PBPM の推進における可能性と課題. 第 22 回日本臨床救急医学会総会・学術集会, 和歌山, 2019 年 5 月
14. 富田隆志. 新記載要領インタビューフォームとその活用. Live Symposium for Pharmacist, 東京, 2019 年 6 月
15. 福島隆宏. 救急・ICU で薬剤師だからできること. 広島県青年薬剤師会 知っピン月イチ勉強会, 広島, 2019 年 6 月
16. 櫻下弘志. 心不全の緩和ケアを考える. Otsuka-Pharmacist seminar, 富山, 2019 年 6 月
17. 富田隆志. インタビューフォーム記載要領の改訂とその活用への期待. 第 22 回日本医薬品情報学会総会・学術大会, 北海道, 2019 年 6 月

18. 藤井健司. てんかん薬物療法の注意点. 薬剤師向けてんかんセミナー 薬剤師が知っておきたい「てんかん」の基本, 広島, 2019年6月
19. 宮本佳奈. 急性期での薬剤師の関わりと情報提供. 広島県病院薬剤師会 病院機能別業務検討委員会研修会, 広島, 2019年6月
20. 吉川博. 救急患者に対する薬剤師の役割と「欲しい」情報. 広島県病院薬剤師会 病院機能別業務検討委員会研修会, 広島, 2019年6月
21. 富田隆志. インタビューフォーム記載要領 2018 の改訂の実際. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019年7月
22. 柴田ゆうか. ポリファーマシー対策に向けて. 安芸地区薬薬連携研修会, 広島, 2019年7月
23. 富田隆志. 添付文書・インタビューフォームの記載要領の改訂ポイント. 第 27 回臨床薬剤師のための講習会, 金沢, 2019年7月
24. 佐伯康之. 病院薬剤師への招待. めでいしーんサマーフォーラム～業界を知り, 職種を学ぶ～, 広島, 2019年8月
25. 佐藤智人. 薬剤の安全使用のための管理に関する基本的知識. 広島県看護協会 令和元年度医療安全管理者養成研修, 広島, 2019年9月
26. 富田隆志. 添付文書とインタビューフォーム, 新記載要領のポイントと使い方. 佐伯薬剤師会 第 214 回集合研修会, 広島, 2019年10月
27. 櫻下弘志. 薬物療法の質向上のための病院と保険薬局の医療連携. 第 39 回広島県薬剤師会学術大会, 広島, 2019年10月
28. 畝井浩子. 地域包括ケアにおける生活と薬から見た薬剤師の役割. Pharmacy Seminar, 岡山, 2019年10月
29. 柴田ゆうか. チオペンタールとプロポフォール の血管外漏出の病理学的評価に基づく傷害リスクの解明と罨法の効果に関する基礎的研究 (2019 年度 Postdoctoral Award 受賞講演). 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019年11月
30. 富田隆志. インタビューフォーム記載要領の改訂ポイントと期待する活用方法. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019年11月
31. 佐藤智人. 当院の中毒症例とその対応. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019年11月
32. 畝井浩子. 薬学的介入ポイント. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019年11月
33. 柴田ゆうか. 手術室で使用する医薬品の適正使用に関する研究 (奨励賞受賞講演). 第 58 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会, 香川, 2019年11月
34. 佐伯康之. 抗がん薬曝露のリスク軽減に向けて. 第 61 回日本小児血液・がん学会学術集会, 広島, 2019年11月
35. 富田隆志. 広島大学病院における後発医薬品採用プロセスについて. ジェネリック医薬品使用促進に係るセミナー, 広島, 2019年11月
36. 櫻下弘志. トレーシングレポートの活用について～喘息領域を中心に～. 第 15 回 Asthma Network Hiroshima, 広島, 2019年11月

学術大会発表（47 件）

1. 奥貞紘平. がん化学療法レジメンオーダシステムと当院での運用について. 第 20 回広島県医療情報技師会研修会, 広島, 2019 年 1 月
2. 藤井健司. 災害時対応に必要なもの。CRC アンケート調査より. 第 12 回 中国地区臨床研究・治験活性化連絡協議会, 広島, 2019 年 1 月
3. 角山政之, 木村優美, 深川恵美子, 小林真理, 田中惇子, 西垣内亮, 藤井健司, 山中恵子, 松尾裕彰, 梅本誠治. 広島大学病院治験審査委員会における治験に付随するゲノム・遺伝子解析研究の当該薬物の評価と直接関係がない探索的研究（分類 C）の取り扱いについて. 日本臨床試験学会第 10 回学術集会総会, 東京, 2019 年 1 月
4. 藤井健司, 西垣内亮, 小林真理, 田中惇子, 木村優美, 深川恵美子, 古屋由加, 山中恵子, 小島美樹子, 中田千彩, 山本さおり, 阿部由佳, 白地直美, 入前麻美, 坂本佳銘子, 増井陽子, 角山政之, 松尾裕彰, 梅本誠治. 治験に特化した災害対応マニュアル作成に向けたアンケート調査結果. 日本臨床試験学会第 10 回学術集会総会, 東京, 2019 年 1 月
5. 本永正矩, 櫻下弘志, 三木陽介, 泉谷悟, 佐伯康之, 松尾裕彰. 外来抗がん剤注射の Dose banding 導入シミュレーションによる医療経済効果. 日本薬学会第 139 年会, 千葉, 2019 年 3 月
6. 久保有子, 富田隆志, 佐伯康之, 北野弘之, 梶原俊毅, 繁本憲文, 大毛宏喜. アトバコンの使用状況に関する後方視的検討. 第 67 回日本化学療法学会総会, 東京, 2019 年 7 月
7. 秋本栞里, 佐藤智人, 福島隆宏, 滝沢大吾, 里章平, 土本美咲, 高橋麻里, 畝井浩子, 松尾裕彰. 散薬の性状とカセット内充填容量の違いによる散薬調剤ロボットの調剤時間の比較. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
8. 板村亮, 本永正矩, 三木陽介, 櫻下弘志, 泉谷悟, 佐伯康之, 松尾裕彰. 抗 PD-L1 抗体アテゾリズマブ加療中に免疫関連有害事象による発熱と貧血を生じた症例. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
9. 宇野博美, 柴田ゆうか, 埴越崇範, 松尾裕彰. 血管外漏出モデルラットを用いた電解質液の血管外漏出の傷害リスク分類. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
10. 大東敏和, 梶川和哉, 佐藤佑樹, 檜山洋子, 佐伯康之, 埴越崇範, 松尾裕彰. 改訂モデル・コアカリキュラム対応実務実習の病棟実習における 8 疾患学修記録とルーブリック評価の先行導入結果と課題. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
11. 小澤智紀, 泉谷悟, 佐藤智人, 畝井浩子, 松尾裕彰. 新規調剤機器導入による医療安全と業務効率化への影響. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
12. 木村優美, 深川恵美子, 小林真理, 上代大地, 田中惇子, 藤井健司, 西垣内亮, 角山政之, 松尾裕彰, 梅本誠治. 治験薬投与レジメン作成の作業効率化を目的とした補助シートの作成. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
13. 櫻下弘志, 佐伯康之, 泉谷悟, 友田江美, 野津和良, 古川千紗, 森木昌子, 畝井浩子, 松尾裕彰.

非小細胞肺癌に対するペグフィルグラスチムのドセタキセル+ラムシルマブ療法への予防的投与.
医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月

14. 嶋田江理嘉, 高松花絵, 平田かおり, 柳田徳栄, 富田隆志, 佐伯康之, 畝井浩子, 松尾裕彰. 広島大学病院における未承認新規医薬品等審査部の審査体制と現状. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
15. 土井舞子, 真志田絵美子, 宮本翔平, 泉谷悟, 佐伯康之, 松尾裕彰. 広島大学病院における入院患者の減薬状況調査. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
16. 原田一樹, 片岡達夫, 宮本佳奈, 福島隆宏, 埴越崇範, 松尾裕彰. 早期の目標血中濃度到達を目的としたテイコプラニンの初期投与設計. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
17. 檜山洋子, 吉川博, 久保有子, 佐伯康之, 松尾裕彰. 薬剤師の連携により肺ノカルジア症治療に貢献できた 1 例. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
18. 深川恵美子, 木村優美, 小林真理, 上代大地, 田中惇子, 西垣内亮, 藤井健司, 角山政之, 梅本誠治, 松尾裕彰. CTCAE バージョン 4.0 から 5.0 への変更に伴う治験プロトコルの調査. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
19. 本永正矩, 三木陽介, 板村亮, 櫻下弘志, 泉谷悟, 佐伯康之, 松尾裕彰. 前投薬強化によりオビヌツズマブ投与時の infusion reaction 再発を予防できた濾胞性リンパ腫の 1 症例. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
20. 山崎友香, 森木昌子, 柴田ゆうか, 佐伯康之, 松尾裕彰. 不眠時指示薬をエスゾピクロンへ変更したことによる転倒抑制効果. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
21. 横田武治, 泉谷悟, 板村亮, 本永正矩, 櫻下弘志, 佐伯康之, 松尾裕彰. エロツズマブ投与速度緩和が Infusion reaction 発現へ与える影響. 医療薬学フォーラム 2019/第 27 回クリニカルファーマシーシンポジウム, 広島, 2019 年 7 月
22. 檜山洋子, 吉川博, 佐藤智人, 緒方嘉隆, 太田浩平, 畝井浩子, 大下慎一郎, 志馬伸朗, 松尾裕彰. 遅発的副作用発現が認められたベンラファキシン徐放性製剤過量服用症例. 第 41 回日本中毒学会総会・学術集会, 埼玉, 2019 年 7 月
23. 吉川博, 檜山洋子, 佐藤智人, 山賀聡之, 畝井浩子, 大下慎一郎, 志馬伸朗, 松尾裕彰. アモキサピン大量服薬により心停止を起こした 1 例. 第 41 回日本中毒学会総会・学術集会, 埼玉, 2019 年 7 月
24. 白地直美, 中田千彩, 深川恵美子, 阿部由佳, 小島美樹子, 角山政之, 梅本誠治. 治験責任医師が長期不在になった場合の対応事例. CRC と臨床試験のあり方を考える会議 2016 (第 19 回) in YOKOHAMA, 神奈川, 2019 年 9 月
25. 小澤智紀, 柴田ゆうか, 松尾裕彰. PCEA 使用患者に対する抗血小板薬・抗凝固薬注意喚起の取り組みと成果. 第 41 回手術医学会, 東京, 2019 年 9 月
26. Ahmad A, Hiyama Y, Kimura S, Ueda Y, Kurihara S, Yamaoka E, Hiyama E. Differential Expression of micro

- RNA in Neuroblastoma Patients Using Next Generation Sequencing. 第 57 回日本癌治療学会学術集会, 福岡, 2019 年 10 月
27. Hiyama Y, Yamaoka E, Fukazawa T, Kanawa M, Kubo Y, Kimura S, Hiyama E, Sotomaru Y. Transgelin: one of the malignant induced factors in neuroblastoma. 第 57 回日本癌治療学会学術集会, 福岡, 2019 年 10 月
 28. Sakurashita H, Saeki Y, Matsuo H. Prophylactic effect of Pegfilgrastim on Docetaxel and Ramucirumab Combination Therapy. 第 57 回日本癌治療学会学術集会, 福岡, 2019 年 10 月
 29. 上代大地, 大東敏和, 林華代, 平田かおり, 佐伯康之, 埜越崇範, 中川直哉, 上村健一郎, 村上義昭, 松尾裕彰. 膵癌術後の血糖治療における DPP-4 阻害薬の有用性に関する検討. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019 年 11 月
 30. 角山政之, 深川恵美子, 木村優美, 小林真理, 上代大地, 田中惇子, 西垣内亮, 藤井健司, 井廻裕美, 村瀬哲也, 松尾裕彰, 梅本誠治. マイルストーン方式による治験費用の支払いの実施と検証. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019 年 11 月
 31. 吉廣尚大, 富田隆志, 櫻谷正明, 無漏田香穂, 向井一樹, 小野塚和人, 橋本佳浩. 集中治療室退室後患者の自己管理能力に関する調査; 単施設後ろ向き観察研究. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019 年 11 月
 32. 富田隆志, 畝井浩子, 松尾裕彰. 医薬品インタビューフォームにおける臨床試験情報の記載状況調査. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019 年 11 月
 33. 石井聡一郎, 櫻下弘志. 真志田絵美子, 佐伯康之, 松尾裕彰. ペグフィルグラスチム皮下注により薬剤性大動脈炎症候群を発症した一例. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019 年 11 月
 34. 三木陽介, 柴田ゆうか, 林華代, 中島春佳, 伊倉あかね, 嶋田江理嘉, 山崎友美, 佐伯康之, 工藤美樹, 松尾裕彰. 子宮卵管造影後の胎児甲状腺機能低下症に対して院内製剤の L-Thyroxine 注を羊水内投与した一例. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019 年 11 月
 35. 藤井健司, 石井聡一郎, 藤田啓子, 畝井浩子, 山崎尚也, 藤井輝久, 松尾裕彰. スタリビルド配合錠からゲンボイヤ配合錠へ変更後、長期服用した症例. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019 年 11 月
 36. 片岡達夫, 富田隆志, 檜山洋子, 宮本佳奈, 久保 有子, 佐伯康之, 埜越崇範, 松尾裕彰. 薬剤師がテイコプラニンの初期投与設計に関わることによる目標濃度到達率と治療効果への影響. 第 29 回日本医療薬学会年会, 福岡, 2019 年 11 月
 37. 広島県病院薬剤師会・医療連携支援検討委員会, 白井敦史, 大東敏和, 荒川隆之, 只佐正嗣, 後藤千栄, 柴田ゆうか, 村上秀治, 今井圭介, 柳田祐子, 平本敦大, 竹本貴明, 柚木りさ, 橋本佳浩, 先森満子, 松尾裕彰. 保険薬局を対象とした病院薬剤師との連携に関するアンケート調査. 第 58 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会, 香川, 2019 年 11 月
 38. 秋本伸, 岡本直樹, 桑原秀徳, 吉川博, 久保田恵理, 荒川隆之, 松本俊治, 日浦和徳, 先森満子, 中村徹志, 松尾裕彰. 広島県における調剤内規に関するアンケート調査. 第 58 回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会, 香川, 2019 年 11 月
 39. 古川千紗, 櫻下弘志, 友田江美, 野津和良, 泉谷悟, 佐伯康之, 畝井浩子, 松尾裕彰. 院内製剤の安全な調製のための秤量値印字システム導入と時間的負担の解析. 第 58 回日本薬学会・日本薬剤師

- 会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会，香川，2019年11月
40. 大本亜沙妃，本永正矩，野津和良，佐藤智人，櫻下弘志，泉谷悟，佐伯康之，松尾裕彰. Dose rounding 用量設定による抗がん薬注射剤のコスト削減効果のシミュレーション解析. 第58回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会，香川，2019年11月
 41. 古川千紗，櫻下弘志，友田江美，中島春佳，野津和良，泉谷悟，佐伯康之，畝井浩子，松尾裕彰. 院内製剤の安全な調製のための秤量値印字システム導入と時間的負担の解析. 令和元年度広島県病院薬剤師会研究発表会，広島，2019年11月
 42. 片岡達夫，富田隆志，檜山洋子，宮本佳奈，埜越崇範，松尾裕彰. 小児患者におけるテイコプラニン初回負荷投与後の血中濃度に影響を与える因子の検討. 第13回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会，熊本，2019年11月
 43. 檜山洋子，片岡達夫，富田隆志，宮本佳奈，埜越崇範，松尾裕彰. 腎機能に応じたテイコプラニン負荷投与量の検討. 第13回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会，熊本，2019年11月
 44. 石井聡一郎，田中まりの，藤井健司，藤田啓子，畝井浩子，柿本聖樹，井上暢子，山崎尚也，高田昇，藤井輝久. 当院におけるNRTI sparing regimen の治療効果と安全性. 第33回日本エイズ学会学術集会・総会，熊本，2019年11月
 45. 杉本悠貴恵，喜花伸子，山崎尚也，井上暢子，柿本聖樹，佐々木美希，宮原明美，池田有里，大成杏子，村上英子，田中まりの，石井聡一郎，畝井浩子，高田昇，藤井輝久. 広島大学病院におけるHIV陽性者の覚せい剤使用者への支援-地域の専門機関へのつながり-. 第33回日本エイズ学会学術集会・総会，熊本，2019年11月
 46. 藤井輝久，山崎尚也，井上暢子，柿本聖樹，石井聡一郎，畝井浩子，齋藤誠司. DTG/ABC/3TC からDTG+3TC への2剤レジメンへの変更の経験. 第33回日本エイズ学会学術集会・総会，熊本，2019年11月
 47. 喜花伸子，杉本悠貴恵，内野悌司，畝井浩子，村上英子，宮原明美，池田有里，山崎尚也，高田昇，藤井輝久. HIV医療チーム対象の症例検討型多職種包括的研修会の効果について検討. 第33回日本エイズ学会学術集会・総会，熊本，2019年11月

広島大学病院薬剤部 同門会 規約

第1章 総則

第1条 (名称)

本会を「広島大学病院薬剤部および広島大学大学院医歯薬保健学研究科薬学専攻医療薬学講座病院薬剤学研究室同門会」、通称「広島大学病院薬剤部同門会」とする

第2条 (事務局)

本会の事務局は、広島大学病院薬剤部（広島市南区霞1丁目2番3号）におく

第2章 目的および事業

第3条 (目的)

広島大学病院薬剤部および広島大学大学院医歯薬保健学研究科薬学専攻医療薬学講座病院薬剤学研究室の発展を期し、併せて会員の親睦・情報交換と学識および研究の向上を図ること

第4条 (事業) 本会は、次の事業を行う

- (1) 会誌を年1回発行する
- (2) 総会を年1回開催する
- (3) 理事会を年1回開催する。但し、必要に応じて会長が招集できる
- (4) 弔慰祝賀を会員のお祝いおよび不幸に際し、必要に応じて会長が招集できる
- (5) その他会長が必要と認めたもの

第3章 会員および役員

第5条 (会員)

- (1) 本会は、広島大学病院薬剤部および広島大学大学院医歯薬保健学研究科薬学専攻医療薬学講座病院薬剤学研究室の在籍者、元職員、卒業者およびその他会長が認めた者を持って構成する
- (2) 会員は、本会所定の会費を支払う義務を負う

第6条 (退会) 会員は、次の事由によってその資格を喪失する

- (1) 死亡
- (2) 本人から退会の申請があり、理事会で承認されたとき
- (3) 3年以上連絡が取れず、理事会で承認されたとき

第7条 (役員) 本会は、次の役員をおく

- (1) 役員は、会長1名、副会長若干名、理事若干名、監事2名とする
- (2) 役員の任期は、2年とし、再任を妨げない
- (3) 欠員により就任した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第8条（役員職務）

- (1) 会長は、本会を代表し、これを統理する
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、これを代行する
- (3) 理事は、理事会を構成し、本会の目的達成に必要な事項を処理する
- (4) 監事は、会務を監査する

第9条（役員選出方法）

- (1) 会長は、薬剤部長とする
- (2) 副会長、理事および監事は、会員の中から会長が指名する。但し、理事のうち1名は薬剤主任とし、その者は、薬剤部幹事を兼任する。

第10条（名誉会長）

本会に名誉会長を置くことができる。名誉会長は前会長を会長が委嘱する

第4章 会計

第11条（会計） 本会は、次の通り会計を行う

- (1) 本会の諸経費は、会費および寄附、その他収入をもってこれに充てる
- (2) 会費として、入会時には、入会費を納入しなければならない。また現役在籍会員は、年会費を納入しなければならない。会費は、別途細則を定める
- (3) 会費を使用する範囲については、別途細則を定める。
- (4) 会計年度は、毎年4月1日から3月31日とする

第5章 附則

第12条（会則の変更）

この会則の変更は、理事会に諮り、総会出席者の過半数の同意をもって決定する

第13条（施行細則）

本規約の施行に必要な事項は細則として別に定め、その改廃は理事会の承認を経て総会にて報告するものとする

附則 本会則は、平成27年1月1日から施行する

平成29年12月23日一部改定（第7条（3）追加，第12条改定）

細則

会費

1. 会費は、入会費および年会費とする。
2. 徴収の額および時期
 - ・職員、薬剤部研修生および学生
 - ： 年会費 3000 円（入会時期を問わず一律、離籍後は免除）
 - ・元職員・卒業生：
 - ①発足時に元職員・卒業生であるもの
入会費は、会員となった時に 3000 円徴収。年会費は、免除。
但し、元職員のうち 65 歳以上の部長副部長経験者は入会費免除。
 - ②現役同門員が元職員・卒業生となったもの
入会費および年会費ともに、免除。
 - ・部外事業の研修生、実習生：
 - ・在籍期間が 1 年以上の場合は前項に準じる
 - ・在籍期間が 1 年未満の場合、入会は任意とし、3000 円徴収
（年度を跨いでも 1 回のみ徴収）
 - ・平成 26 年度発足時の取り扱い
 - ・職員、学生からは初年度会費として 3000 円徴収
（職員は納付済みの薬局費から充当）
 - ・元職員、卒業生の入会は任意とし、入会者から 3000 円徴収
（65 歳以上の部長副部長経験者は免除）

会費を使用する範囲

- ・会誌作成（年 1 回、年末に作成）
作成に掛かる必要経費とする
- ・同門会総会（年 1 回、年末に開催）
開催に掛かる必要経費とする。原則、飲食に掛かる費用は、その都度別途に徴するが、~~会員のうち退職時に副部長以上の役職かつ 65 歳以上のものからは、徴収しない。~~
- ・慶弔（本人のみ）
死亡：元職員の時のみ、弔電を「広島大学病院薬剤部同門会 一同」より送る。弔慰金は 1 万円とし、供花も併せて送る。
結婚：元職員の時のみ、祝電を「広島大学病院薬剤部同門会 一同」より送る。
*いずれの場合も、原則会員本人または会員の 1 親等から報告があった場合のみ対応する。

- ・通信

通信に掛かる必要経費とする。会誌や案内などの送付は、原則メールを使用する。郵送は、理事会で必要と認めたものおよびメールアドレスが不明の場合に限る。

- ・交際

同門会員と情報交換や親睦を目的としたものに対して、会長・副会長の同席または事前に了承を得た上で、その対象者分に限り 1 回当たりの実費（上限 5000 円/回）を支給する。但し、対象者が同一の場合は、原則 1 回まで、対象者が学生の場合は、原則上限 1000 円/回までとする。

- ・その他、会長が必要と認めたもの